



シリーズ②

『殿塚・姫塚』を訪れてみる編

このコーナーでは、広報担当者が町内の各所を気まに散策し、その場所の「魅力」や「情報」、そこで「感じたこと」などを発信していきます。

ふらりと、広報担当が行く



(D)



②



③



④

- ①雄大な姿の「殿塚古墳」
- ②4月上旬頃からきれいな「桜」が咲きます
- ③年に一度古代人が降臨する場所
- ④殿塚・姫塚の案内看板
(場所：山武郡横芝光町中台462)

芝 山町周辺は県内有数の古墳密集地ですが、この殿塚・姫塚からも多量の人物や動物の形象埴輪が出土されています。

殿塚は全長88m、高さ7・8m、姫塚は全長58・5m、高さ4・8m、ともに前方後円墳の形を成しており、周囲の15基の古墳と合わせて芝山古墳群(中台古墳群)と呼ばれています。

僕も実際に訪れた感想は、木々に下から見上げる殿塚の雄大な姿はまさに圧巻、古代を生きた人々の威厳や偉大さを感じることができます。

また、殿塚は姫塚と比べて小さいこともあり穏やかな印象を受けますが、古代の人々の生き様をそのまま写し出しているような洗練された姿であるように感じます。

年に一度開催される「芝山はにわ祭」では、古代人が降臨する地として、今や芝山町の伝統風景となっています。

古代特有の幻想的で神聖な雰囲気味わえますので、皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか？

《オススメ1》 4月頃は「桜」がきれいに色付き、このあたりでは珍しい御衣黄桜も咲きますので、散策必見です。

《オススメ2》 「芝山はにわ祭」が開催される毎年11月の第2日曜日は、古代人に出会える貴重な1日となりますので、ぜひお越しください。

あとがき

◆今回は入所式・入園式・入学式を取材しました。去年取材したときには、支援センターでお母さんと一緒にかわいらしく遊んでいた子どもたちが保育所や幼稚園に、元氣いっぱい行事に取り組んでいた保育所や幼稚園の子どもたちが小学生に、小学生だった子どもたちは中学生となりすっかりお兄さんとお姉さんの顔に…◆広報担当は短い期間ではありますが、町の子どもの成長にも寄り添うことができ、自分も2人の子を持つ親として何ともいえない感慨深い思いです。◆さて、今回の人事異動で新しく「M」さんが広報担当となりました。社会人1年目でとにかくフレッシュ！僕もまだまだ広報2年目、負けずにフレッシュに頑張りたいと思います。新体制で迎える新年度もどうぞよろしくお祈りします！ (D)

◆4月から広報担当になりましたMと申します。社会人1年目の新米記者です。芝山町役場に入庁して5日目、第二保育所で取材デビューをしました！初めての取材、初めて使う本格的なカメラでの写真撮影に子どもたち以上に緊張していたと思います(笑)◆初取材を終えての感想は…難しい、の一言でした。ピントが合わない、明るさが合わないなど課題は山積みですが、いつか表紙を飾る素敵写真が撮りたいです！◆不安なこともあります、これから取材をとおしてたくさんの方々とお会いできることもワクワクしています！読むのが楽しみになるような広報紙が作れるよう、撮影も編集も頑張りますのでよろしくお祈りします！ (M)